

ボローニャ大学交換留学月例報告(3月分)

文化政策学部 国際文化学科 3年 恒枝碧

Buongiorno! 国際文化学科 3年の恒枝碧です。3月のボローニャは天気の変化が激しく曇りの日や雨の日がつづきました。下旬になると暖かくなり桜や他の花も咲き始めとても過ごしやすい気候でした。今回は3月下旬にあったイースターについてご紹介します。

【Buona Pasqua!(パスクア)】

キリスト教文化が根強いイタリアでは Pasqua(イースター)のお祭りはクリスマスのように大切にされています。今年の Pasqua は 3月 31日 で Pasqua の次の日も Pasquetta という祝日です。Pasqua の日は春分の日を過ぎてから最初の満月の次の日曜日なので毎年日付は変わります。バレンタインデーが過ぎるとイタリアのお菓子屋さんやスーパーマーケットには Pasqua のためのチョコレートエッグが山盛りに積まれています。また、「イースターエッグ」文化はもともとイギリスの文化だそうで、イタリア固有の Pasqua 文化は Colomba(コロンバ)という直径 20センチほどの発酵焼き菓子を家族や友人と食べることで、つまりイタリアでは家族でチョコレートエッグを送りあい、コロンバをみんなで食べるのが Pasqua の過ごし方です。

そもそも Pasqua とはキリスト復活祭です。大学の Pasqua 休暇が 28日 ごろから始まり、友達とボローニャをぶらぶらしていると、当時 Pasqua について無知だった私に友人は「Hey Ao, 明日 Gesù(キリスト)が死ぬよ」となかなか衝撃発言をしてきました。大聖堂の前には大きな十字架が建てられており、「明日(金曜日)の正午に Gesù が死んで、金曜日から数えて 3 日目の日曜日に Gesù が復活するんだよ」と Pasqua の意味を教えてもらいました。キリスト教文化の薄い日本ではキリストの誕生日であるクリスマスしか有名ではありませんが、確かにキリストの死とその復活は誕生日と同じくらい大切だと実感しました。クリスマス休暇のとき多くの学生が地元に戻ったためボローニャは静かになり、同様に Pasqua 休暇もクリスマスほどではありませんが学生が減り静かになりました。Pasqua の 2 日前にスーパーでチョコレートエッグを購入しウキウキしながら友人に購入の報告をして、「明日開けよう〜」とのんきに考えていたら、友人から返信がきて「Ao! その卵は Pasqua の日まで待てよ! まだ開けたらダメだよ!」と私の心を読んでいたかのような返信が返ってきました。危ない危ない。友人は普段の私の行動から Pasqua の前に開けてしまうことを察知していたらしいで



↑スーパーで購入したチョコレートエッグ



↑Colomba(焼き菓子)

す。感謝です。チョコレートエッグの中にはプレゼントや小さなチョコが入っており、クリスマスプレゼントのように Pasqua の朝に開けて朝ごはんとしてそのチョコを食べるのが文化だそうです。

当日の朝、包装を開封し拳で割ろうとしましたがなかなか固くて割れません。ルームメイトと協力して何度か思いっきり殴ったところやっと割れました。友人のチョコレートエッグはチョコが薄く、彼は頭で割っていました。友人たちとのグループチャットには各々が「Buona Pasqua!」と祝福のメッセージと書き、この日は皆が家族や友人と過ごすためボローニャのほとんどの店が閉まっていました。スーパーさえ、どこも定休日です。

また、もうひとつおもしろい文化として、Pasqua の次の日に Pasquetta という祝日があります。この日はイタリアでは田舎に行ってピクニックをするという文化があります。車があれば田舎に行けるのですが、学生の街ボローニャで車を持っている人は多くありません。そのため多くの人はボローニャにある大きな公園に行って友達とピクニックをするらしいです。「Ao, 天気が良かったらピクニックに行こう。でも Pasquetta は毎年だいたい雨降るんだよね。」と友人に言われ天気予報を見ると 4 月 1 日 (Pasquetta) 以外晴れているのに本当にその日だけ雨予報なのです。そして本当に Pasquetta だけ天気が良くありませんでした。なにかキリストの力でも働いているのでしょうか。しかし、イタリアで Pasqua を存分に楽しむことができいい思い出になりました。

【”Ti amo”と”Ti voglio bene”】

先日友人と交わした会話の中で盛り上がった話題を共有します。友人と別れるとき、家族と別れるときなどハグやキスをする文化のあるイタリアでは、英語の「I love you」にあたる言葉が 2 つあります。ひとつは“Ti amo”これは恋人やパートナーに対して使う「愛してる」という言葉です。一方 Ti voglio bene “は家族や昔から知っている親しい友人に対して愛を伝えるときに使う「愛している」という言葉です。これを受けて日本では”Ti voglio bene” に相当する言葉が見当たらないことを友人に告げると、「嘘でしょ! ? どうやって普段愛を伝えるの! ? 母の日とかは! ?」と驚かされていました。この言葉は相手に悲しいできごとがあったときにも励ます言葉として使われるようです。日本語の「君が大切です。」というニュアンスに近いのでしょうか。日本は愛情というより感謝を伝えるほうが強いのかもかもしれません。試しに「母の日には”いつもありがとう”と伝えるよ」と言ってみると「Noooooo, 違うだろおお」と返ってきて 2 人で大爆笑しました。

3 月は授業もあったため特にボローニャを出ることもなく、旅行の機会はありませんでした。その代わり、今までも仲良かった友人と授業以外で会う日が増え、土日や Pasqua 休暇にはよく会って遊ぶなど日常の些細な楽しみが多かったです。ここでの生活の好きなことは、友達と会う際にどこかに行くために会うのではなく、会ってとりあえず街をぶらぶらしながら雑談することを目的として集合することです。歩きながら話して、疲れたら bar に入って話して、大聖堂の前の階段で座って話して、これは話すことが好きなイタリア人文化の一部なのかもしれません。

